

警察署等再編整備計画

令和2年2月
兵庫県警察本部

目 次

はじめに	1
第1 再編整備の背景	2
1 小規模警察署の脆弱性及び非効率性	2
2 犯罪情勢等の変化に伴う専門的、広域的対応が必要な事案の増加	2
3 警察署間における業務負担の較差	2
4 警察施設の老朽化	2
第2 警察署等再編整備の基本方針	3
1 小規模警察署の機能強化、大規模化による事態対処能力の強化	3
2 治安情勢に応じた人員の配分による県下全体の治安維持力の向上	3
第3 再編整備による効果	3
1 事態対処能力の優れた警察署体制の確立	3
2 専門的、広域的な事案に対応し得る体制の充実	3
3 再編地域における安心感、利便性の確保	4
4 警察署間における業務負担の較差の改善	4
第4 具体的再編整備内容	4
1 警察署の再編整備	4
2 警察署再編地域における治安対策等	8
3 警部派出所の運用の見直し	11
4 警察本部による支援体制の充実	12
第5 警察本部及び交番・駐在所の再編整備	13
1 警察本部の組織整備	13
2 交番・駐在所の再編整備	13
3 人的基盤の強化も含めた治安対策の高度化	13
第6 再編整備の時期	14
第7 再編整備実施後の検証	14

はじめに

兵庫県警察を取り巻く社会環境は、高速道路網の整備や大量輸送手段の発達、情報通信技術の進展、少子高齢化・人口減少の進行、都市部と非都市部の人口格差の拡大、訪日外国人の急増などにより、近年大きく変化している。他方、治安情勢を見ると、ストーカー・DV・各種虐待等の人身安全関連事案、特殊詐欺、情報通信技術を悪用したサイバー犯罪、国際テロ等といった新たな脅威が増大し、犯罪はますます高度化・複雑化している。

このような社会情勢の変化に対応した組織を構築するため、平成29年5月19日に、各界有識者13人からなる警察本部長の諮問機関「次世代に向けた兵庫県警察の組織の在り方を考える懇話会」を設置した。

同懇話会では、合計5回の会議をはじめ、各方面への警察施設の視察など活発な活動を行っていただき、県警察の現状や課題等について様々な見地からの議論を重ね、平成29年12月26日、警察を取り巻く課題に効率的かつ効果的に対処するためには、警察本部から警察署の交番・駐在所に至るまで、警察機能の一層の強化に向けた大胆な組織改革が必要であるとの答申をまとめていただいたところである。

答申の内容を尊重しつつ、交番襲撃事案等の重要凶悪事件や大規模災害等の直近の治安情勢も踏まえて、警察内部で更なる検討を行い策定した「警察署等再編整備計画案」について、県民から広く意見を求めるために意見募集手続（パブリック・コメント）を実施したところ、186件の意見が寄せられた。

さらに、関係自治体、地域住民等に説明を行う過程において様々な意見、要望等があったことから、これらを踏まえて所要の修正を加えた上で、この度「警察署等再編整備計画」を策定したものである。

第1 再編整備の背景

1 小規模警察署の脆弱性及び非効率性^{ぜい}

- 専務員の人員が少ないため、夜間・休日の体制が弱く、同時に事件・事故が発生した場合や凶悪事件が発生した場合、初動対応に支障を来すおそれがある。
- 署長・副署長等いわゆる管理部門の人員が署員全体に対して高比率となっており、非効率な体制である。
- 県下全体として、事件・事故の発生件数が減少傾向にある中、元々事件・事故の発生件数が少ない地域では、専務員は事件・事故を取り扱う機会が少なく、平素からの錬度を向上させることが困難な状況にある。

2 犯罪情勢等の変化に伴う専門的、広域的対応が必要な事案の増加

ストーカー・DV・各種虐待等の人身安全関連事案、特殊詐欺、サイバー犯罪、来日外国人犯罪等の専門的かつ広域的な対応が必要な事案が増え、警察官の業務負担が増加するとともに、警察本部と警察署が緊密に連携して対応する必要性が増している。

3 警察署間における業務負担の較差

- 非都市部の警察署では、人口の減少に伴い事件・事故の発生件数等が減少しており、都市部の警察署と比較して警察官1人当たりの業務負担に較差が生じ、業務負担の平準化・公平化が問題となっている。

【別添資料1参照】

- 警部派出所の生活安全関係及び交通関係の許可等事務の1日当たりの取扱件数は僅少となっており、警察官全体の業務負担のバランスからみて、それに対応する専務員を配置することが非効率な状態となっている。

4 警察施設の老朽化

既存の警察施設の老朽化が進んでおり、今後とも現在の施設を維持しながら建替更新等を進めると、将来にわたり大きな財政負担となる。

第2 警察署等再編整備の基本方針

1 小規模警察署の機能強化、大規模化による事態対処能力の強化

- 小規模警察署の統合等により規模を拡大することによって、必要な専務員の人員を確保し、夜間・休日も含めて複雑・大規模な事件・事故や災害等への対処能力を強化させる。
- 管理部門等のスリム化により捻出した人員を実働部門に再配分することで、治安維持力の向上を図る。

2 治安情勢に応じた人員の配分による県下全体の治安維持力の向上

- 警察署再編地域を含む広域的な治安維持力の向上を図るため、小規模警察署の統合等により捻出した人員を、本部執行隊等に再配分して、警察署を支援する体制を増強することにより、警察署の管轄区域を超えた広域的な事案への対処能力の強化を図る。
- ストーカー・DV・各種虐待等の人身安全関連事案、特殊詐欺、サイバー犯罪、来日外国人犯罪等はその対応に専門的知識や技術が必要であり、警察本部において専門的かつ広域的に対応できる体制を強化することにより、それらの事案への対処能力の強化を図る。

第3 再編整備による効果

1 事態対処能力の優れた警察署体制の確立

- 再編整備による警察署の大規模化により、夜間・休日の体制が強化される。
- 複雑・大規模な事件・事故や災害等への対処能力が強化される。
- 再編整備により捻出した人員を本部執行隊等に再配分することにより、街頭活動を強化することができることに加え、事件・事故に対する広域的な対応が可能となることから、治安維持力の向上につながる。

2 専門的、広域的な事案に対応し得る体制の充実

- 警察本部の捜査員による警察署の支援体制を充実させることで、専門的知識や技術が必要な事案への対処能力が強化される。

- 警察署の管轄区域を越えて活動することができる本部執行隊等の体制を充実させることで、警察署再編地域及びその周辺地域の警戒力を高めるとともに、事件・事故が発生した際は、迅速的確な対応が可能となる。

3 再編地域における安心感、利便性の確保

- 警察署等再編地域においては、警察センター又は分庁舎を設置し、地域住民の利便性を考慮して、運転免許更新事務等を必要な範囲で取り扱うとともに、地域との連携を担う連絡調整官を警察センター等に配置する。
- 警察署再編地域及びその周辺地域に本部地域部機動パトロール隊に所属する広域多機能部隊（同隊のパトカー）を編成し、警察センターを活動拠点として、平素はパトロール活動や事件・事故の対応を行い、災害発生時には災害警備部隊として活動させることで、初動対応力を強化する。

4 警察署間における業務負担の較差の改善

再編整備の対象となる警察署における管理部門等の人員や警部派出所に配置された専務員の人員を業務負担の高い警察署に再配分することにより、警察官1人当たりの業務負担の較差の改善を図る。

第4 具体的再編整備内容

【別添資料2参照】

1 警察署の再編整備

【別添資料3及び4参照】

(1) 佐用警察署

【別添資料5参照】

ア 現状

- 佐用郡の全域を管轄しており、管内人口は県下で3番目に少ない。
- 過去5年間の平均取扱件数は、刑法犯認知件数、人身交通事故発生件数、110番受理件数ともに県下で2番目に少ない。
- 警察署員数は、県下で2番目に少ない。専務員の人員も少ないため、事

態対処能力が脆弱であり、特に夜間・休日は事件対応に十分な組織体制となっていない。

イ 再編整備内容

(ア) 内容

- 佐用警察署とたつの警察署を統合し、専務員の人員を充実させる。
- 管轄区域は、たつの市、揖保郡及び佐用郡とする。
- たつの警察署の庁舎を本庁舎とする。
- たつの警察署の庁舎はたつの警察署のままとし、佐用警察署の庁舎は兵庫県警察佐用警察センター（以下「佐用警察センター」という。）とする。

(イ) 統合先をたつの警察署とし、同警察署を本庁舎とする理由

- たつの警察署は、近隣警察署と比較して警察署員数が多いため、より多くの専務員の体制を確保し、事態対処能力の強化が図られる。
- 消防・検察庁等の関係機関の管轄区域との整合が図られる。
- 佐用郡と隣接するたつの市は鉄道（JR姫新線）、国道179号でつながっており、地域住民の利便性を確保する観点からも適当である。
- 統合に当たり、本庁舎の位置については、
 - ・ 管内の事件・事故の発生件数が姫路市を除く西播磨地域で最も多く、警察署の体制も充実していること
 - ・ 人口、商業施設、官公庁等が集中している地域に所在することから、たつの警察署を本庁舎とする。

(2) 養父警察署

【別添資料6参照】

ア 現状

- 養父市全域を管轄しており、管内人口は県下で4番目に少ない。
- 過去5年間の平均取扱件数は、刑法犯認知件数が県下で3番目に、人身交通事故発生件数及び110番受理件数が県下で5番目に少ない。

- 警察署員数は、県下で3番目に少ない。専務員の人員も少ないため、事態対処能力が脆弱であり、特に夜間・休日は事件対応に十分な組織体制となっていない。

イ 再編整備内容

(ア) 内容

- 養父警察署と朝来警察署を統合し、専務員の人員を充実させる。
- 管轄区域は、養父市及び朝来市とする。
- 朝来警察署の庁舎を本庁舎とする。
- 朝来警察署の庁舎は南但馬警察署朝来本庁舎とし、養父警察署の庁舎は兵庫県警察養父警察センター（以下「養父警察センター」という。）とする。

(イ) 統合先を朝来警察署とし、同警察署を本庁舎とする理由

- 朝来警察署も警察署員数が県下においては比較的少なく、統合することで専務員の体制を確保し、事態対処能力の強化が図られる。
- 消防・検察庁等の関係機関の管轄区域との整合が図られる。
- 養父市と隣接する朝来市は、鉄道（JR山陰本線）、国道9号及び同312号でつながっており、地域住民の利便性を確保する観点からも適当である。
- 統合に当たり、本庁舎の位置については、
 - ・ 鉄道や国道の交わる交通の要所に所在すること
 - ・ 統合する管轄区域の中では、人口、商業施設、官公庁等が比較的集中している地域に所在することから、朝来警察署を本庁舎とする。

(3) 豊岡北警察署

【別添資料7参照】

ア 現状

- 豊岡市の一部を管轄しており、管内人口は県下で最も少ない。

- 過去5年間の平均取扱件数は刑法犯認知件数、人身交通事故発生件数、110番受理件数ともに県下で最も少ない。
- 警察署員数は、県下で最も少ない。専務員の人員も少ないため、事態対処能力が脆弱であり、特に夜間・休日は事件対応に十分な組織体制となっていない。

イ 再編整備内容

(ア) 内容

- 豊岡北警察署と豊岡南警察署を統合し、専務員の人員を充実させる。
- 管轄区域は、豊岡市とする。
- 豊岡南警察署の庁舎を本庁舎とする。
- 豊岡南警察署の庁舎は豊岡警察署とし、豊岡北警察署の庁舎は兵庫県警察城崎警察センター（以下「城崎警察センター」という。）とする。

(イ) 統合先を豊岡南警察署とし、同警察署を本庁舎とする理由

- 豊岡南警察署は、近隣警察署と比較して警察署員数が比較的多いため、より多くの専務員の体制を確保し、事態対処能力の強化が図られる。
- 自治体の行政区域は、両署とも豊岡市であり、両警察署を統合した場合、自治体の行政区域と警察署の管轄区域との整合が図られる。
- 豊岡南警察署管内と豊岡北警察署管内は、鉄道（JR山陰本線）、国道178号でつながっており、地域住民の利便性の確保の観点からも適当である。
- 統合に当たり、本庁舎の位置については、
 - ・ 管内の事件・事故の発生件数が但馬地域で最も多く、警察署の体制も充実していること
 - ・ 豊岡市において人口、商業施設、官公庁等が集中しており、但馬地域の交通の要所となっている地域に所在することから、豊岡南警察署を本庁舎とする。

(4) 警察署再編地域における効果等

- 警察署の規模の拡大による事態対処能力の強化
 - ・ 警察署を統合して大規模化を図ることで、警察署の専務員の体制が充実
 - ・ 警察署に寄せられる地域住民からの各種相談等への迅速な対応と早期解決が可能
- 警察署の実働部門の強化
 - ・ 管理部門がスリム化され、現場の実働部門へ再配置が可能
 - ・ 専門的・広域的な事案について警察署を支援できる体制の充実が可能

2 警察署再編地域における治安対策等

【別添資料 8 参照】

(1) 警察センターの機能

ア 警察センター所長の配置等

- 警察センター所長 副署長が兼務し、庁舎の責任者として、随時、警察センターに赴き、担当区域内に配置されている職員を指揮監督する。
- 連絡調整官 階級は警部とし、防犯活動や交通安全活動を始めとして、関係行政機関や地域住民と連携して行う活動等について連絡調整に当たるとともに、担当区域内に配置されている地域課員を指揮監督する。
- 連絡調整員 連絡調整官の任務の補助等を行う。人事については、地域住民との信頼関係を構築する観点から、一定期間同じ警察官を配置するよう配慮する。

イ 許可等事務の受付窓口

警察センターの機能は、それぞれの庁舎の位置及び許可等事務の取扱件数、付近の受付窓口の設置状況等から総合的に判断して、地域住民の利便性確保のため、必要性が高いと判断される機能を継続し、それ以外の機能は統合先の警察署に一本化する。

ウ パトカーの配置

統合前に配置していたパトカーに加え、広域多機能部隊のパトカーを警察センターに常駐させることで、地域に密着した警戒活動を確保することができ、警戒力と機動力が強化される。

エ 災害時等の活動拠点

災害対策拠点施設として、災害地域支援チーム（DCST：デコスト）を事前配置させるとともに、災害時等の食糧、装備資器材等の備蓄倉庫として活用する。

(2) 各警察センターの具体的な機能

ア 佐用警察センター

(ア) 佐用警察センターに置く職

- 警察センター所長
- 連絡調整官
- 連絡調整員

(イ) パトカーの配置

- 佐用警察署に配置されていたパトカーの活動拠点とする。
- 本部地域部機動パトロール隊の分駐所を設置し、広域多機能部隊のパトカーの活動拠点とする。

(ウ) 許可等事務の受付窓口

運転免許事務、道路使用許可、自動車の保管場所証明等の交通部門に係る各種許可等事務の受付窓口を置く。

(エ) 災害時等の活動拠点

災害地域支援チームの事前配置場所等として活用する。

イ 養父警察センター

(ア) 養父警察センターに置く職

- 警察センター所長
- 連絡調整官
- 連絡調整員

(イ) パトカーの配置

- 養父警察署に配置されていたパトカーの活動拠点とする。
- 本部地域部機動パトロール隊の分駐所を設置し、広域多機能部隊のパトカーの活動拠点とする。

(ウ) 災害時等の活動拠点

災害地域支援チームの事前配置場所等として活用する。

ウ 城崎警察センター

(ア) 城崎警察センターに置く職

- 警察センター所長
- 連絡調整官
- 連絡調整員

(イ) パトカーの配置

- 豊岡北警察署に配置されていたパトカーの活動拠点とする。
- 本部地域部機動パトロール隊の分駐所を設置し、広域多機能部隊のパトカーの活動拠点とする。

(ウ) 許可等事務の受付窓口

- 運転免許更新事務を週1回、曜日を限定して実施

(3) 地域に密着した警戒活動の維持

- 警察署が警察センターとなる地域は、交番・駐在所と配置パトカーは、当分の間、現状のまま継続して配置する。
- 警察センターに本部地域部機動パトロール隊の分駐所を設置し、周辺地域を含め広域的、機動的にパトロール等を行う広域多機能部隊を配置する。
- 統合により専務員が充実し、地域課員が専務員を応援する機会が減少することから、本来業務であるパトロール等の街頭活動を十分に行うことができ、また、交番・駐在所の不在時間の減少につながる。

(4) 自治体との連携

- 知識・経験が豊富な警察官OBについて、雇用を希望する市町への情報提

供を行う。

- 警察センターの老朽化により庁舎の建替を行う際には、自治体庁舎と警察施設の一体化を検討するなど、自治体との連携の強化を推進する。

3 警部派出所の運用の見直し

【別添資料9参照】

(1) 見直しの理由

警部派出所は行政機能のみを備えた施設であるが、設置当時とは交通事情や管内人口等が変化し、許可等事務の取扱件数も僅少である状況を踏まえ、人員配置の非効率性を解消するため、警部派出所の運用及び取扱事務を一部見直すこととする。

(2) 見直しの概要

- 交番が併設されていない出石警部派出所、香住警部派出所及び津名西警部派出所は分庁舎とする。
- 分庁舎には責任者として分庁舎所長及び連絡調整官を配置するとともに、配置パトカーの活動拠点として存続する。
- 分庁舎所長は警察署の警務課長が兼務し、分庁舎の責任者として庁舎の管理等に当たる。
- 連絡調整官の階級は警部補とし、一定期間同じ警察官を配置するよう配慮したうえで、防犯活動や交通安全活動を始めとして、関係行政機関や地域住民と連携して行う活動等について連絡調整に当たる。
- 交番が併設されている警部派出所については、現在の庁舎を利用し、交番として存続する。
- 警部派出所で取り扱っていた生活安全関係及び交通関係の許可等事務の受付窓口は、原則として管轄警察署に集約する。
- 運転免許更新事務については、分庁舎等の施設を利用して、曜日を限定して実施する。
- 名称は、それぞれ地域の名称を冠した分庁舎又は併設する交番名とする。

- 分庁舎等の老朽化により、庁舎の建替を行う際には、周辺施設に集約化して存続させるなど、個別に検討する。

4 警察本部による支援体制の充実

(1) 広域多機能部隊の配置

【別添資料10参照】

- 広域多機能部隊は、本部地域部機動パトロール隊の隊員を充て、平素は、警察センターを拠点としてパトカーによるパトロール活動を行い、警察署が警察センターになる地域の住民の安心感の醸成に努める。
- 隊員には、刑事・生活安全・交通等の様々な経験や知識を有した人材を優先的に配置することで、各種事件・事故に即応できる体制を整備する。
- 隊員は、災害地域支援チームに指定し、災害発生時には、災害警備部隊として被災地等に派遣し初期対応を担わせる。

(2) 運転免許更新事務

- 本部交通部運転免許課員による巡回方式の運転免許更新事務
再編地域において、曜日を限定して行う運転免許更新事務を円滑に実施するため、警察署員のほか、本部交通部運転免許課の職員も派遣して行う。
- 但馬運転免許センターの運転免許更新申請受付日の拡大
但馬地域の運転免許更新の窓口が減少することに鑑み、本部交通部運転免許課の体制を強化し、但馬運転免許センターでの運転免許更新申請受付日を週1日から週2日に拡大して、地域住民の利便性を確保する。

(3) 本部による捜査支援体制の強化

- 防犯カメラ画像等の収集や、検視業務を担当する警察本部の所属において、警察署再編地域を含む方面を担当する体制を強化する。

(4) 住民サービスの維持向上

- スマートフォンのビデオ通話機能を活用した映像通報システム「Live 110（仮称）」の導入や各種届出等のオンライン化を検討するなど、業務の高度化を図り、住民サービスの維持向上を図る。

(5) 災害対応の強化

- 大規模災害が発生するおそれがあり、被災地又は被災が予想される地域を管轄する警察署だけでは十分な初期対応が困難と認められる場合は、災害地域支援チームを警察センター等に事前配置する。
- 発災時に現場の状況の把握を可能とするため、災害時等警察活動協力員からの現場の情報を迅速に受ける仕組みを検討するとともに、関係団体等との現場支援等に関する協定等を事前に締結する。

第5 警察本部及び交番・駐在所の再編整備

1 警察本部の組織整備

(1) 警察本部の人員配置の見直し

警察署への支援体制の増強の必要性に鑑み、より一層の業務の合理化を図るとともに、業務負担等を考慮しつつ、本部のデスク部門等の人員の削減を図り、警察署を支援する体制等の強化につなげる。

(2) 専門的、広域的な事案への対応

サイバーセキュリティ・捜査高度化センター（CSIS）を設置するとともに、来日外国人犯罪に対応する組織の新設を検討するなど、専門的、広域的対応が必要な事案への対処能力を強化する。

2 交番・駐在所の再編整備

(1) 業務負担の低い交番・駐在所の再編整備

警察署再編の状況や安全・安心の確保の観点も踏まえて、都市部を中心に業務負担の低い交番・駐在所を対象とした再編整備を検討する。

(2) 勤務の在り方の検討

交番・駐在所の勤務形態は、時間帯別の治安情勢や男女共働き世帯の増加等の社会情勢の変化も踏まえて、日勤制の導入も含めて検討する。

3 人的基盤の強化も含めた治安対策の高度化

(1) 人的基盤の強化

- 積極的な採用活動を継続して行うことにより、一人でも多くの優秀・有用な人物を採用する。
- 捜査員等に対しては、犯罪情勢の変化に対応するため、より高度な知識・技能を習得させるなどの人材育成に努める。
- 次世代を担う若手警察官については、個々の能力や育成状況等をデータ化して分析するなどして、現場に即した実践的な人材育成に努め、執行力の強化を図る。
- 西播磨・但馬地域での勤務に関する希望調査を踏まえて、同地域の出身者や勤務を希望する者を優先的に配置することで、地域に根ざした警察活動の実現を目指す。

(2) 警察施設の計画的な維持管理

警察施設は、数が多いことに加え、老朽化も進んでおり、全てをそのまま建替更新していくことは合理的ではないことから、今後は施設周辺の人口動態や事件・事故の発生状況を見極めながら、必要な施設やその規模を検証し、計画的に維持管理を行う。

(3) 装備資器材の高度化による警察力の向上

- 犯罪情勢の変化に的確に対応するため、装備資器材の高度化を図るとともに、警察署の再編整備に伴い、既存の装備資器材の配置換えをするなど、更なる警察力の向上に努める。
- 県民の安全・安心を確保していくため、A Iを活用した画像解析など最先端技術の導入等により、警察業務の高度化、効率化に努める。

第6 再編整備の時期

令和3年3月頃を目途に実施する。

第7 再編整備実施後の検証

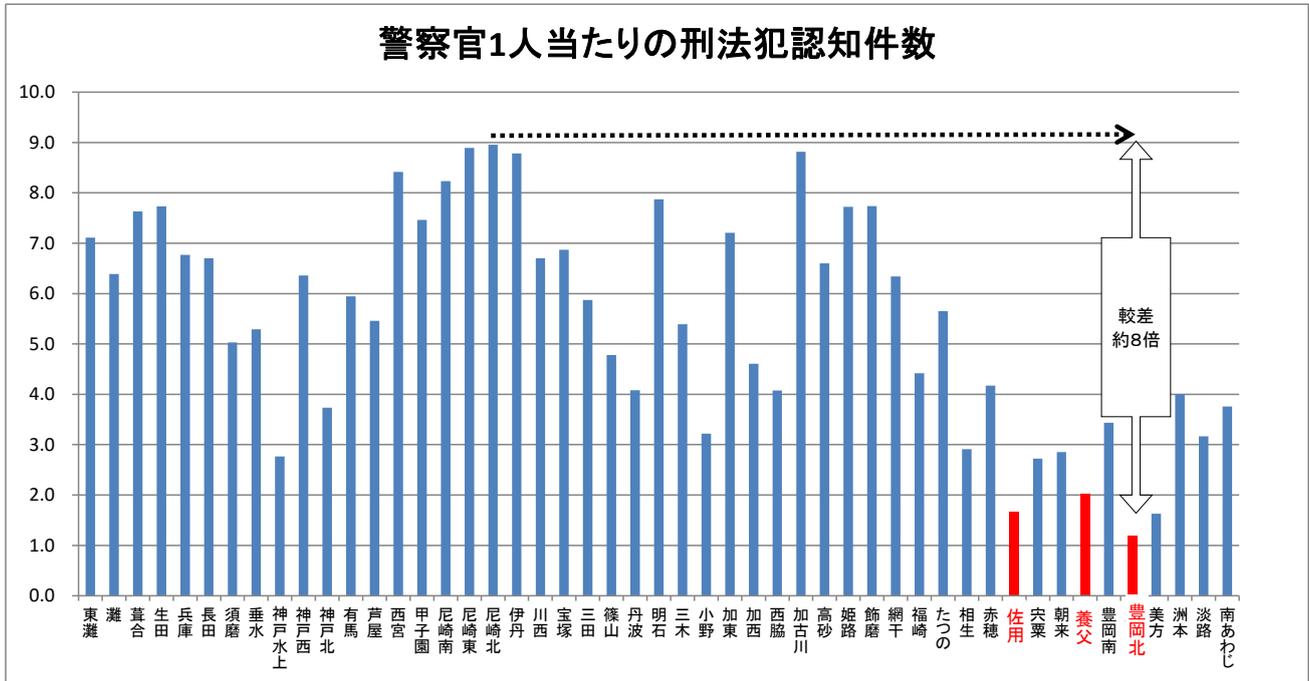
今回の警察署等再編整備計画は、現下の厳しい治安情勢に対処するため、特に

小規模警察署の事態対処能力の強化と第一線への人員のシフトに重点を置いたものであるが、意見募集手続において再編後の治安情勢についての不安に関する意見が寄せられたことを踏まえ、概ね3年後をめどに、警察署再編地域の治安情勢を検証し、更なる対策の要否について検討することとする。

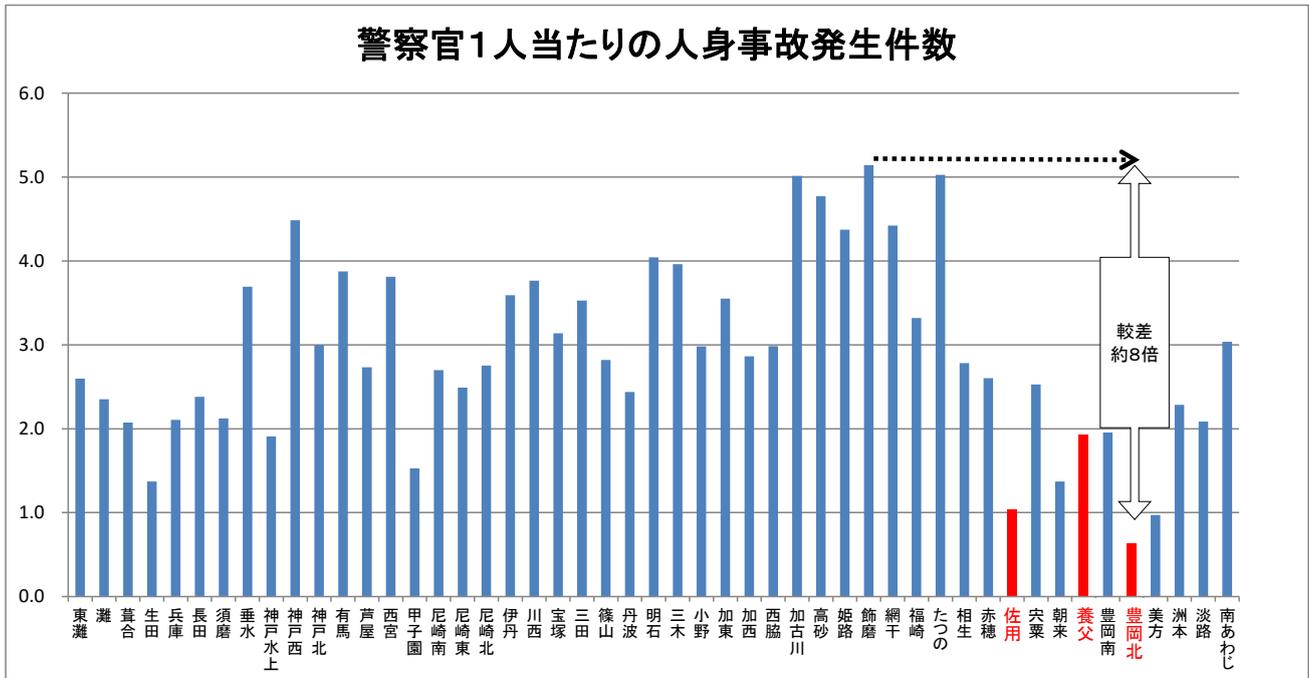
また、県下の人口推移、自治体の合併等の社会情勢や治安情勢、施設の立地条件等を踏まえながら、より広域的な警察署の再編や、都市部の警察署の再編についても、中長期的視点に立った検討や不断の見直しを行っていくこととしている。

資料 1

警察署別の警察官1人当たりの刑法犯認知件数・人身事故発生件数
(平成26年～平成30年の5年間の平均件数)

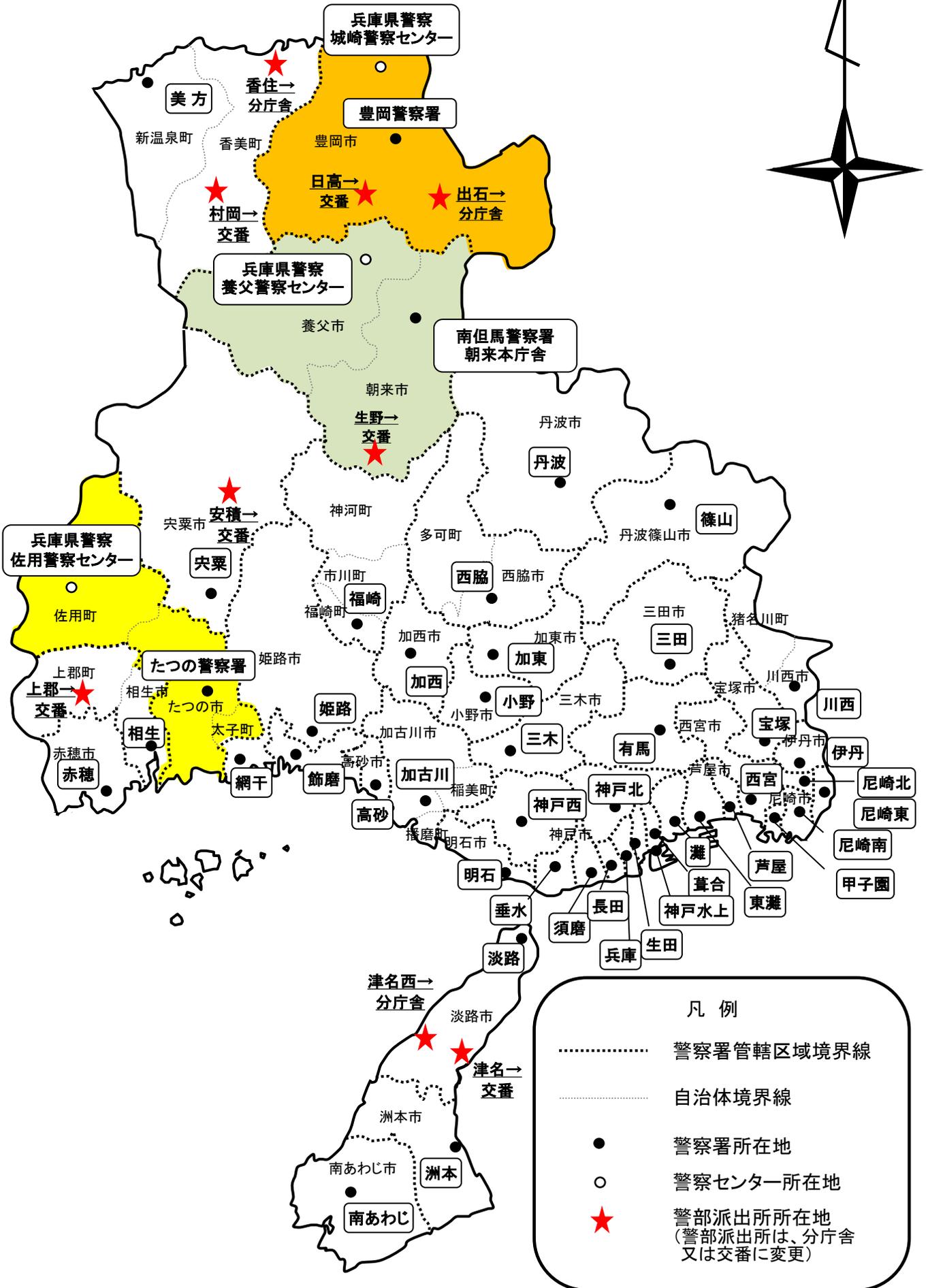


※ 小野警察署については、平成27年～平成30年の4年間の平均を示す。



※ 小野警察署については、平成27年～平成30年の4年間の平均を示す。

兵庫県警察警察署等再編図



資料 3

警察署別管内状況（総数順）

	警察署員数		人口		世帯数		面積		刑法犯		人身交通事故		110番受理件数	
	(31.4.1)	総数	(31.4.1)	総数	(31.4.1)	総数	(30.10.1)	総数	(30年中)	総数	(30年中)	総数	(30年中)	総数
1	姫路	428	西宮	361,629	西宮	157,394	宍粟	658.54	加古川	2,843	加古川	1,903	西宮	25,805
2	加古川	416	加古川	326,844	加古川	131,055	美方	609.78	西宮	2,627	姫路	1,541	明石	23,940
3	西宮	410	明石	298,399	明石	127,751	豊岡南	534.64	明石	2,478	飾磨	1,416	加古川	22,160
4	明石	387	神戸西	240,940	姫路	100,584	丹波	493.21	姫路	2,334	西宮	1,318	姫路	21,451
5	生田	339	姫路	239,672	神戸西	99,665	養父	422.91	生田	2,136	明石	1,187	神戸西	17,005
6	神戸西	324	宝塚	224,728	東灘	99,232	朝来	403.06	尼崎北	1,964	神戸西	1,170	尼崎南	15,651
7	尼崎南	299	垂水	216,642	宝塚	96,737	姫路	399.36	伊丹	1,927	伊丹	949	生田	15,029
8	尼崎東	286	東灘	213,754	垂水	96,127	篠山	377.59	尼崎南	1,906	垂水	847	尼崎北	14,079
9	兵庫	281	伊丹	197,973	尼崎北	85,138	福崎	330.70	尼崎東	1,864	宝塚	785	尼崎東	13,776
10	伊丹	276	飾磨	185,399	伊丹	81,992	西脇	317.63	兵庫	1,664	尼崎南	751	伊丹	13,723
11	飾磨	271	川西	184,115	飾磨	77,027	佐用	307.44	飾磨	1,639	尼崎東	737	垂水	13,685
12	尼崎北	260	尼崎北	178,133	尼崎東	75,773	相生	240.66	神戸西	1,482	川西	681	東灘	13,461
13	垂水	256	尼崎東	159,099	川西	74,750	たつの	233.48	甲子園	1,280	尼崎北	659	飾磨	12,890
14	東灘	236	須磨	158,472	須磨	73,514	南あわじ	229.01	長田	1,244	東灘	625	兵庫	12,816
15	須磨	236	灘	136,441	灘	68,300	三田	210.32	東灘	1,234	網干	601	宝塚	12,689
16	宝塚	230	神戸北	125,692	兵庫	59,518	淡路	184.32	葦合	1,231	たつの	588	川西	11,404
17	長田	224	甲子園	125,138	甲子園	57,652	加古川	182.53	垂水	1,205	高砂	484	灘	10,609
18	灘	207	尼崎南	113,947	尼崎南	56,476	洲本	182.38	宝塚	1,191	兵庫	463	須磨	10,492
19	川西	203	三田	111,014	神戸北	53,067	三木	176.51	川西	1,157	長田	456	長田	10,200
20	葦合	200	たつの	108,623	長田	49,322	豊岡北	162.91	灘	1,135	灘	452	葦合	9,698
21	甲子園	200	兵庫	107,027	葦合	43,715	加東	157.55	須磨	895	三田	418	甲子園	7,960
22	神戸北	146	網干	105,238	三田	42,453	有馬	151.45	たつの	745	三木	414	神戸北	7,630
23	たつの	143	長田	95,433	網干	42,229	加西	150.98	網干	742	葦合	402	網干	6,540
24	網干	142	芦屋	94,222	芦屋	42,088	川西	143.77	芦屋	575	有馬	402	たつの	6,420
25	神戸水上	128	高砂	88,492	たつの	40,473	神戸西	138.01	三木	541	生田	379	芦屋	6,271
26	芦屋	127	有馬	86,972	高砂	36,621	赤穂	126.85	高砂	533	須磨	363	有馬	5,516
27	高砂	127	三木	75,406	有馬	34,572	宝塚	101.80	有馬	523	神戸北	362	三木	5,216
28	豊岡南	124	葦合	70,585	生田	34,220	飾磨	93.61	三田	483	芦屋	319	三田	4,804
29	三田	120	豊岡南	68,431	三木	29,548	小野	92.94	神戸北	422	甲子園	223	高砂	4,741
30	有馬	119	丹波	62,093	豊岡南	26,445	神戸北	88.84	豊岡南	321	神戸水上	219	豊岡南	3,443
31	三木	118	西脇	59,285	丹波	23,019	西宮	88.33	洲本	292	小野	206	神戸水上	3,355
32	淡路	99	生田	55,185	西脇	22,192	明石	49.42	小野	287	相生	193	小野	2,615
33	丹波	90	小野	47,811	赤穂	18,759	網干	41.51	加東	286	西脇	188	西脇	2,603
34	相生	89	赤穂	46,471	洲本	17,941	高砂	34.38	西脇	278	豊岡南	178	丹波	2,474
35	西脇	88	南あわじ	44,823	相生	17,788	東灘	34.02	赤穂	274	加東	178	加東	2,225
36	赤穂	82	相生	43,437	小野	17,539	灘	32.66	神戸水上	271	福崎	171	淡路	2,164
37	洲本	82	加西	43,216	淡路	17,423	須磨	28.93	淡路	257	丹波	169	朝来	2,076
38	小野	81	洲本	41,886	南あわじ	17,182	垂水	28.11	南あわじ	251	赤穂	168	洲本	2,055
39	美方	79	福崎	41,809	加西	16,173	伊丹	25.00	丹波	237	南あわじ	168	相生	2,044
40	南あわじ	77	淡路	41,783	加東	16,055	尼崎南	19.11	加西	235	洲本	164	篠山	1,857
41	宍粟	73	加東	40,404	篠山	15,988	芦屋	18.47	篠山	233	淡路	159	加西	1,841
42	加西	72	篠山	40,121	福崎	15,452	尼崎東	17.42	福崎	211	宍粟	159	赤穂	1,832
43	加東	71	宍粟	35,269	宍粟	12,794	兵庫	14.68	相生	172	加西	154	南あわじ	1,830
44	篠山	66	美方	30,277	朝来	11,586	尼崎北	14.19	朝来	151	篠山	135	福崎	1,772
45	福崎	66	朝来	29,438	美方	11,217	神戸水上	12.54	宍粟	149	美方	82	養父	1,575
46	朝来	66	養父	22,580	養父	8,523	甲子園	11.63	美方	122	養父	81	美方	1,491
47	養父	52	佐用	16,118	神戸水上	8,026	長田	11.36	養父	94	朝来	71	宍粟	936
48	佐用	48	神戸水上	15,492	佐用	5,976	葦合	8.97	佐用	71	佐用	33	佐用	730
49	豊岡北	42	豊岡北	10,225	豊岡北	3,952	生田	7.46	豊岡北	41	豊岡北	20	豊岡北	636
	総計	8,586	総計	5,466,183	総計	2,371,023	総計	8,400.95	総計	44,233	総計	23,791	総計	395,215

資料 4

警察署別管内状況（総数5年平均）

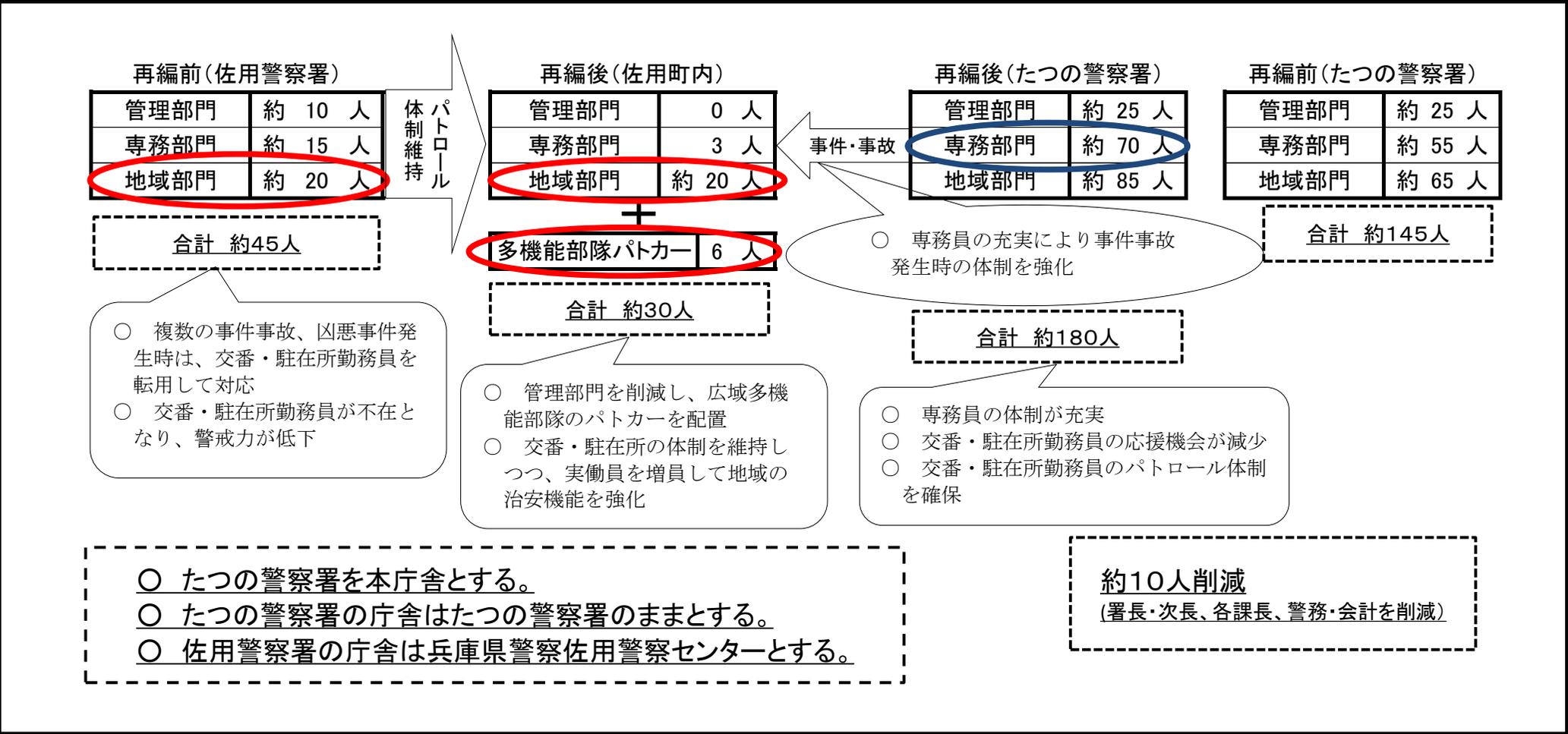
	警察署員 定員 (31年度)	人口(31.4.1)		刑法犯認知件数		人身事故発生件数		110番受理件数	
			順位	5年平均	順位	5年平均	順位	5年平均	順位
東 灘	236	213,754	8	1,635.6	13	597.6	16	13,132.2	13
灘	207	136,441	15	1,284.0	20	472.4	21	10,719.2	17
葺 合	200	70,585	28	1,473.2	15	400.4	27	9,804.6	20
生 田	339	55,185	32	2,559.6	5	454.4	22	15,258.0	6
兵 庫	281	107,027	21	1,861.8	12	579.2	18	13,328.8	11
長 田	224	95,433	23	1,460.8	16	518.8	19	10,243.0	19
須 磨	236	158,472	14	1,156.6	21	488.4	20	10,810.2	16
垂 水	256	216,642	7	1,328.0	18	926.8	8	13,693.4	10
神 戸 水 上	128	15,492	48	298.6	37	206.2	37	3,066.8	32
神 戸 西	324	240,940	4	2,015.4	10	1,422.0	5	17,364.8	5
神 戸 北	146	125,692	16	526.8	29	422.8	25	7,152.0	22
有 馬	119	86,972	26	678.0	25	441.8	24	5,423.8	25
芦 屋	127	94,222	24	666.0	27	333.4	28	5,651.2	24
西 宮	410	361,629	1	3,358.4	2	1,521.0	4	24,498.4	1
甲 子 園	200	125,138	17	1,440.2	17	294.6	29	7,779.6	21
尼 崎 南	299	113,947	18	2,403.6	7	788.2	9	14,882.2	7
尼 崎 東	286	159,099	13	2,489.4	6	697.6	13	13,179.8	12
尼 崎 北	260	178,133	12	2,275.0	9	699.4	12	14,405.8	8
伊 丹	276	197,973	9	2,362.4	8	966.0	7	13,874.8	9
川 西	203	184,115	11	1,320.2	19	741.8	10	10,655.0	18
宝 塚	230	224,728	6	1,545.6	14	706.2	11	12,491.0	14
三 田	120	111,014	19	675.2	26	405.6	26	4,780.0	28
篠 山	66	40,121	42	296.4	39	174.8	43	1,899.2	37
丹 波	90	62,093	30	346.8	32	207.2	36	2,267.2	34
明 石	387	298,399	3	2,982.6	4	1,532.2	3	21,595.4	4
三 木	118	75,406	27	609.2	28	447.8	23	4,673.8	29
小 野	81	47,811	33	248.0	42	229.5	34	2,098.3	35
加 東	71	40,404	41	483.0	30	238.0	31	3,139.2	31
加 西	72	43,216	37	313.2	35	194.6	41	1,820.6	40
西 脇	88	59,285	31	338.4	33	247.6	30	2,697.4	33
加 古 川	416	326,844	2	3,596.2	1	2,045.6	1	21,964.4	3
高 砂	127	88,492	25	805.4	23	582.2	17	4,964.4	27
姫 路	428	239,672	5	3,228.6	3	1,827.8	2	22,747.8	2
飾 磨	271	185,399	10	2,004.4	11	1,331.4	6	12,229.4	15
網 干	142	105,238	22	868.6	22	605.6	15	5,371.6	26
福 崎	66	41,809	39	274.0	41	205.8	38	1,739.6	43
た つ の	143	108,623	20	779.6	24	693.6	14	6,090.0	23
相 生	89	43,437	36	244.4	43	233.6	32	1,991.0	36
赤 穂	82	46,471	34	325.6	34	203.0	39	1,775.0	42
佐 用	48	16,118	47	73.4	48	45.8	48	677.6	48
宍 粟	73	35,269	43	188.0	44	174.4	44	907.6	47
朝 来	66	29,438	45	177.0	45	85.0	46	1,794.0	41
養 父	52	22,580	46	96.8	47	92.6	45	1,473.2	45
豊 岡 南	124	68,431	29	408.6	31	232.6	33	3,167.4	30
豊 岡 北	42	10,225	49	46.2	49	25.0	49	555.4	49
美 方	79	30,277	44	122.2	46	73.0	47	1,365.0	46
洲 本	82	41,886	38	312.2	36	178.2	42	1,843.4	39
淡 路	99	41,783	40	297.4	38	196.0	40	1,873.0	38
南 あ わ じ	77	44,823	35	274.4	40	221.6	35	1,662.0	44

※5年平均については、平成26年～平成30年の5年間の平均を示す。

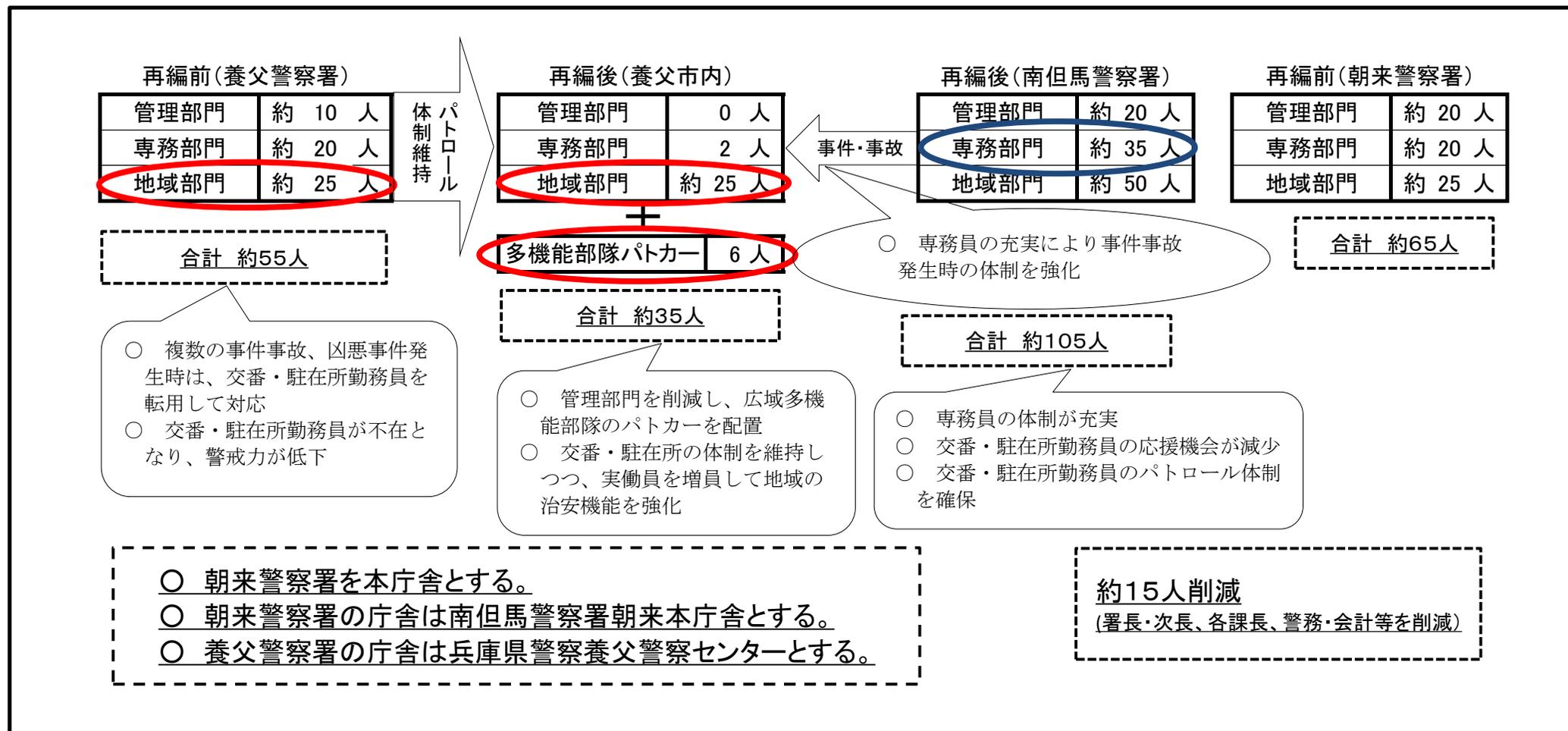
※小野署については、平成27年～平成30年の4年間の平均を示す。

※警察署員定数については警察官と一般職員を合わせた人員を示す。

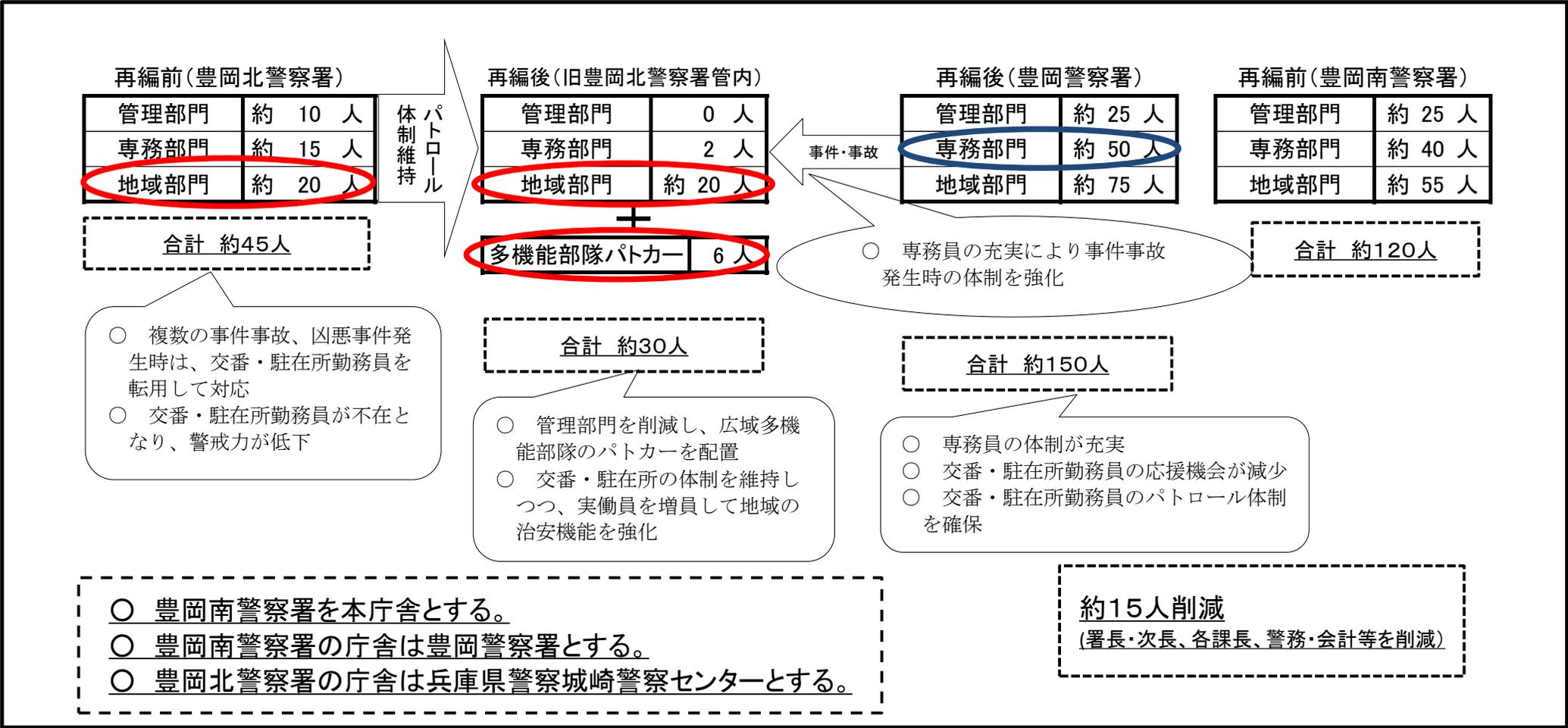
佐用警察署の再編整備内容について



養父警察署の再編整備内容について



豊岡北警察署の再編整備内容について



警察署再編後の警察センターの機能について

警察署

管理部門

削減し、実働部門の体制を強化

専務部門

隣接署と統合することで、必要な人員を確保し、事態対処能力を強化

パトカー

交通関係
許可等事務

- ・ 運転免許更新
- ・ 道路使用許可、駐車許可等

生活安全関係
許可等事務

風俗営業、警備業、古物営業、猟銃所持許可等

許可等事務の受付窓口は、管轄警察署に集約

交番・駐在所

警察センター

警察センター所長

- ・ 警察センターには、警察センター所長を配置する。
- ・ 警察センター所長は、副署長が兼務する。
- ・ 警察センターの責任者として、随時、警察センターに赴き、担当区域内に配置されている職員を指揮監督する。

連絡調整官

- ・ 警察センターには、連絡調整官を配置する。
- ・ 階級は警部とする。
- ・ 防犯活動や交通安全活動を始めとして、関係行政機関や地域住民と連携して行う活動等について連絡調整を行う。
- ・ 担当区域内に配置されている地域課員を指揮監督する。
- ・ 警察安全相談並びに苦情の受理及び処理に関する警察署担当課長等との連絡調整を行う。
- ・ 担当区域内における行政サービスの向上に関する業務を行う。
- ・ 災害情報等に関する関係自治体等との迅速な共有を行う。
- ・ 管轄区域の変更に伴う調整等を行う。

連絡調整員

- ・ 連絡調整官の任務の補助等を行う。
- ・ 人事については、地域住民との信頼関係を構築する観点から、一定期間同じ警察官の配置を考慮する。

パトカー

- ・ 警察センターを拠点として活動

運転免許更新事務

- ・ 必要な範囲で継続

広域多機能部隊【新設】

- ・ 警察センターを活動拠点とし、重要凶悪事件等の際は、広域的又は集中的に初動対応
- ・ 災害地域支援チーム（DCST：デコスト）に指定し、災害発生時は被災地で初期対応等を支援
- ・ 災害時等の食糧、装備資器材等の備蓄倉庫として活用
- ・ 災害地域支援チームの事前配置場所として活用

当分の間、存続

警部派出所見直し後の分庁舎の機能について

警部派出所

行政機能のみ

警部派出所長

- ・ 許可等事務の決裁
- ・ 地域及び行政との窓口
地元との連絡調整を行い、住民等の要望を把握

パトカー

交通関係
許可等事務

- ・ 運転免許更新
- ・ 道路使用許可、
駐車許可等

生活安全関係
許可等事務

風俗営業、古物営業、
猟銃所持許可等

併設交番

許可等事務
の受付窓口
は、管轄警
察署に集約

併設交番なし

併設交番あり

分庁舎

● 庁舎を存続

治安機能を付加

分庁舎所長

- ・ 分庁舎には、分庁舎所長を配置する。
- ・ 分庁舎所長は、警務課長が兼務する。
- ・ 分庁舎の責任者として庁舎の管理等に当たる。

連絡調整官

○ 任務等

- ・ 分庁舎には、連絡調整官を配置する。
- ・ 階級は警部補とする。
- ・ 防犯活動や交通安全活動を始めとして、関係行政機関や地域住民と連携して行う活動等について連絡調整を行う。
- ・ 警察安全相談並びに苦情の受理及び処理に関する警察署担当課長等との連絡調整を行う。
- ・ 担当区域内における行政サービスの向上に関する業務を行う。
- ・ 災害情報等に関する関係自治体等との迅速な共有を行う。
- ・ 担当区域内における交番・駐在所への指導や事件・事故発生時の現場活動を行う。
- ・ 地域住民との信頼関係を構築する観点から、一定期間同じ警察官の配置を考慮する。

○ 警部派出所長との差異

- ・ 警部派出所長は警部派出所の責任者として、許可等事務を担当していたが、連絡調整官は許可等事務の担当を外れるため、これまで以上に、地域住民や関係団体等との連携強化を図ることができる。
- ・ 警部派出所長には無かった担当区域内における交番・駐在所への指導や事件・事故等発生時の現場活動に従事させる。

パトカー

- ・ 分庁舎を拠点として活動

運転免許更新事務

- ・ 必要な範囲で曜日を限定して実施

交 番

● 庁舎を交番として活用

運転免許更新事務

- ・ 必要な範囲で曜日を限定して実施

